

1 次の計算をしましょう。

(1)  $0.8 \times 0.07$   
 $= 0.8 \times 7 \div 100$   
 $= 5.6 \div 100 = 0.056$

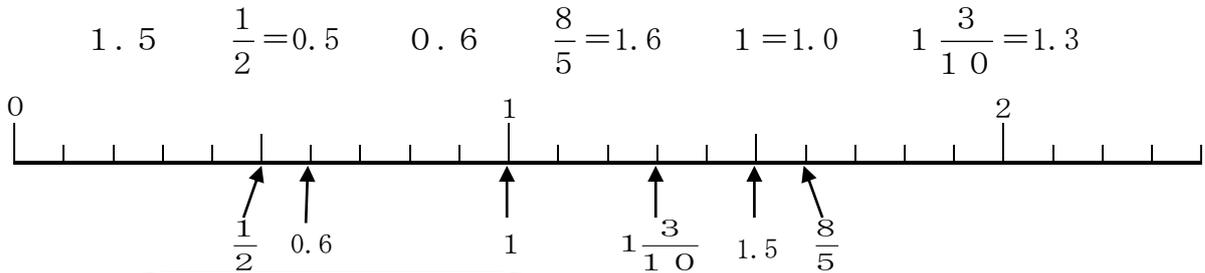
(3)  $1 - \frac{5}{8}$   
 $= \frac{5}{8} - \frac{5}{8} = \frac{3}{8}$

(2)  $6 + \boxed{50 \times 2}$   
 $= 6 + 100$   
 $= 106$

(4)  $(\boxed{4 \times 7} - 6) \div 2$   
 $= (\boxed{28} - 6) \div 2$   
 $= 22 \div 2 = 11$

(1)	<b>0.056</b>
(2)	<b>106</b>
(3)	<b><math>\frac{3}{8}</math></b>
(4)	<b>11</b>

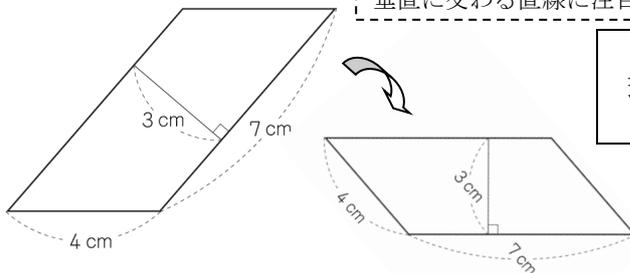
2 次の数を下の数直線に表し、小さい順にかきましよう。 小数にそろえて比べましよう。



整数、小数、分数がまじった数の大きさを比べるには、小数や分数など同じ種類の数にそろえることが大切だね。

$\frac{1}{2}$ , 0.6, 1,  $1\frac{3}{10}$ , 1.5,  $\frac{8}{5}$

3 次の平行四辺形の面積を求める式と答えを書きましよう。



垂直に交わる直線に注目すると、底辺と高さが見つかります。

式	<b><math>7 \times 3</math></b>
答え	<b>21 cm<sup>2</sup></b>

4 みゆきさんは、図書館で借りた本を6日間で読み終わりました。

36ページ読んだ日が4日、45ページ読んだ日が2日でした。

みゆきさんは、1日平均何ページ読んだことになりますか。

本1さつのページ数は、 $36 \times 4 + 45 \times 2 = 144 + 90 = 234$  ページ  
 6日であると、1日平均は  $234 \div 6 = 39$  ページ

**39 ページ**



日数がそろっていないから、 $(36 + 45) \div 2 = 41.5$  ページでは正しい答えが出ないね。

5 下の表は、A市とB市の人口と面積を表したものです。

面積のわりに人口が多いのはどちらですか。人口みつ度でくらべましよう。

	人口 (人)	面積 (km <sup>2</sup> )
A市	522000	145
B市	355200	96

人口みつ度を比べると、1km<sup>2</sup>あたり

A市は  $522000 \div 145 = 3600$  人

B市は  $355200 \div 96 = 3700$  人

**B 市**

1 次の計算をしましょう。(1) は、わり切れるまで計算して商を小数で書きましょう。

(1)  $6 \div 5 = 1.2$

小数点を打つ位置を気をつけましょう。

(2)  $243 - 65 = 178$

2回くり下がりがあるので、気をつけましょう。

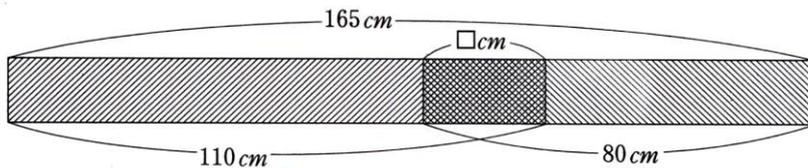
(3)  $6 + [0.5 \times 2] = 6 + 1 = 7$

たし算よりかけ算を先にするので、 $\square$ の中を先に計算します。

$$\begin{array}{r} 1.2 \\ 5 \overline{)6} \\ \underline{5} \phantom{0} \\ 10 \\ \underline{10} \\ 0 \end{array}$$

(1)	1.2
(2)	178
(3)	7

2 110 cm のテープに80 cm のテープを、何 cm か かさねてつなぎました。テープの長さは、全体で165 cm になりました。つなぎめの  $\square$  の長さは何 cm ですか？式と答えを書きましょう。

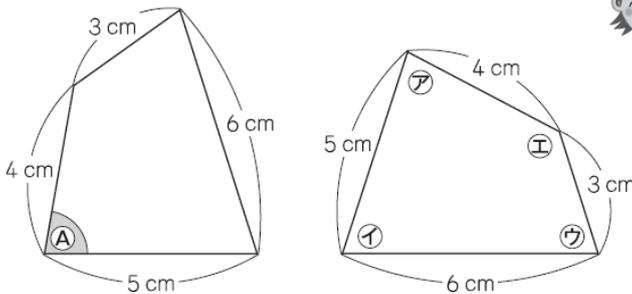


かさねてつながない場合には、合わせた長さが190 cm になり、25 cm 長くなるから、その長さがつなぎめの長さになるね。

式	$110 + 80 - 165$
答え	25 cm

3 下の2つの四角形は、合同です。

左の四角形の (A) の角に対応する角は、どれですか。  
右の四角形の (ア) の角から (イ) の角までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



角をはさんでいる辺の長さに、目をつけると、(A) と同じように4 cm と 5 cm の辺にはさまれている角は (ア) だと分かるね。

( ア ) の角

4 はじめにシールを何枚か持っていて、5人で等しく分けたら、1人10枚ずつになりました。このことを、はじめに持っていたシールの枚数を  $\square$  枚として式に表します。下の1から4までの中から、正しい式を1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1  $\square \times 5 = 10$
- 2  $10 \times \square = 5$
- 3  $\square \div 5 = 10$
- 4  $10 \div \square = 5$

3

1 次の計算をしましょう。

(1)  $27 \times 3.4 = 91.8$

$$\begin{array}{r} 27 \\ \times 3.4 \\ \hline 108 \\ 81 \\ \hline 91.8 \end{array}$$

(2)  $12 \div 0.6$

$= (12 \times 10) \div (0.6 \times 10) = 120 \div 6 = 20$

(3)  $12 + \boxed{18 \div 3} = 12 + 6 = 18$

わり算を先にすることに気をつけましょう。

2 次の数を小さい順に左から並べましょう。

$1\frac{2}{3} = \frac{5}{3}$  ,  $\frac{8}{3}$  ,  $2 = \frac{6}{3}$

大小をくらべられるように、分母を3でそろえればいいですね。

(1)	91.8
(2)	20
(3)	18

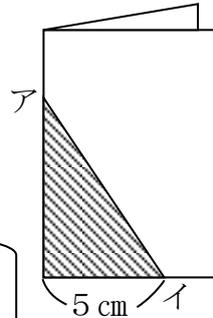
$1\frac{2}{3}$ , $2$ , $\frac{8}{3}$
--------------------------------------

3 おり紙をきちんと重なるように2つにおいて、アイの線の所で切ってひろげたら、正三角形になりました。

アイは何cmですか。



おった紙を開くと、下の辺が10cmだとわかるね。正三角形になるから、アイの長さは下の辺と等しくなるね。

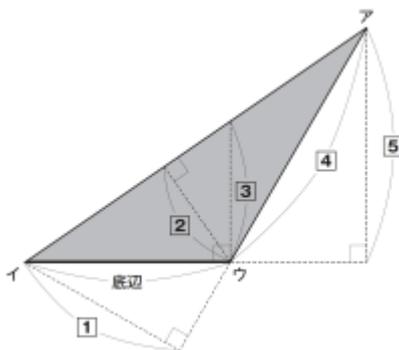


10 cm
-------

4 下の三角形アイウの面積の求め方を考えます。

辺イウを底辺とするとき、三角形アイウの高さはどこの高さになりますか。

下の1から5までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。



5
---

5 時速270kmで走る新幹線しんかんせんがあります。

この新幹線しんかんせんが、3時間走り続けるとすると、何km進みますか。

道のり=速さ×時間で求められます。  
だから、 $270 \times 3 = 810$ と求めることができるね。

810 km
--------

# 小学5年 算数 4

# 解説シート

1 次の計算をしましょう。

(1)  $9.3 \times 0.8$   
 $= 9.3 \times 8 \div 10 = 74.4 \div 10 = 7.44$

(2)  $68.4 \div 36 = 1.9$

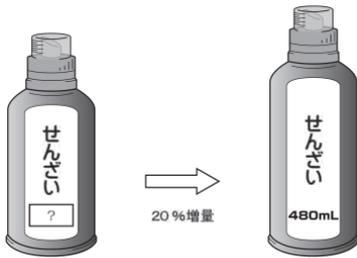
(3)  $(4 \times 7 - 6) \div 2$   
 $= (28 - 6) \div 2 = 22 \div 2 = 11$

$$\begin{array}{r} 1.9 \\ 36 \overline{) 68.4} \\ \underline{36} \phantom{4} \\ 324 \\ \underline{324} \\ 0 \end{array}$$

(1)	7.44
(2)	1.9
(3)	11

2 せんざいを買います。家で使っているせんざいが、20%増量して売られていました。増量後のせんざいの量は480mLです。

増量前のせんざいの量は何mLですか。求める式と答えを書きましょう。



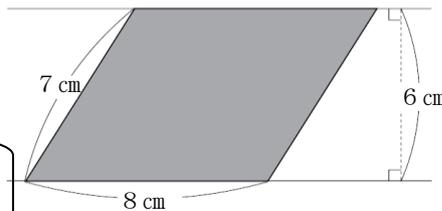
式

(例)  $480 \div 1.2 = 400$

20%増量ということは  
1.2倍になっていると  
いうことになります。

答え 400 mL

3 右の平行四辺形の面積を求めましょう。

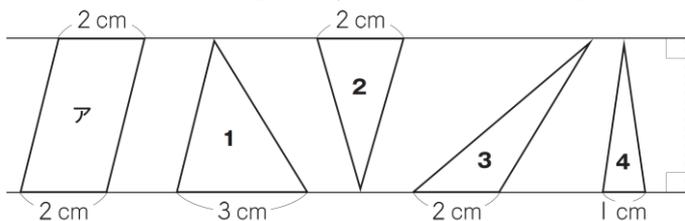


底辺は8cm、高さは6cmだね。  
7cmは高さではないので、気をつけよう。 $8 \times 6 = 48 \text{ cm}^2$

48  $\text{cm}^2$

4 平行な2本の直線を使って、平行四辺形や三角形をかきました。

下の1から4までの三角形の中で、平行四辺形アの面積の、半分の面積であるものはどれですか。すべて選んで、その番号を書きましょう。



2, 3

5 家でイヌやネコを飼っているかどうかを、13人に聞いて、下のよう記録しました。

左の記録を右の表にまとめます。右の表の**ア**にあてはまる数を書きましょう。

飼っている動物調べ

出席番号	イヌ	ネコ
1	○	×
2	×	×
3	○	×
4	○	○
5	○	×
6	×	×
7	○	×
8	×	×
9	○	○
10	×	○
11	○	×
12	×	×
13	○	×

飼っている動物調べ (人)

		ネコ		合計
		○	×	
イヌ	○	(○○) 2	(○×) <b>ア</b> 6	
	×	(×○) 1	(××) 4	
合計				



イヌが○、ネコが×の人数を数えればいいね。番号が1,3,5,7,11,13の6人だね。

6

○…飼っている  
×…飼っていない

さとしさんたちは、右の問題について考えています。さとしさんは、まず□の中に「1」、「2」、「3」を入れて筆算で計算しました。次に□の中に「4」、「5」、「6」を入れて筆算で計算しました。

問題

□の中にいろいろな数を入れて、「 $37 \times \square$ 」の計算をしましょう。

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 37 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 74 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 111 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 148 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 185 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline 222 \end{array}$$

37×3の積は111となって、  
同じ数字が3つ並びます。



さとし

37×6の積は222となって、  
同じ数字が3つ並びます。



さとし

- (1) さとしさんは、□の中に「7」、「8」、「9」を入れて計算し、積に同じ数字が並ぶかどうかを調べます。積に同じ数字が並ぶ計算を、下の1～3の中から1つ選んで番号を書きましょう。
- 実際に筆算をして確かめましょう。

1

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline \end{array}$$

2

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline \end{array}$$

3

$$\begin{array}{r} 37 \\ \times \square \\ \hline \end{array}$$

3

- (2) さとしさんとよし子さんは、 $37 \times \square$ の計算で、積に同じ数字が並ぶ計算があることに気づきました。そして、なぜ、かける数が6のとき、積に同じ数字が並ぶのかを考えました。

$$37 \times 3 = 111$$

$$37 \times 6 = 222$$

2人は、実際に筆算で計算しなくても、 $37 \times 3 = 111$ をもとにすると、 $37 \times 6$ の積が222になることに気づき、右のように説明しました。



さとしさんの説明

$$\begin{aligned} 37 \times 6 &= 37 \times (3 \times 2) \\ &= (37 \times 3) \times 2 \\ &= 111 \times 2 \\ &= 222 \end{aligned}$$



よし子さんの説明

$37 \times 6$ の6は $3 \times 2$ と考えることができます。  
すると、 $37 \times 6$ の積は $37 \times 3$ の2倍の大きさになります。  
だから、積は111の2倍の222になります。

説明

- (例)  $37 \times 24$ の24は $3 \times 8$ と考えることができます。  
すると、 $37 \times 24$ の積は $37 \times 3$ の8倍の大きさになります。  
だから、積は111の8倍の888になります。

$37 \times 3 = 111$ が使えるように、かける数を $3 \times \square$ の形にして説明します。

ハンカチ・ティッシュペーパーを持ってきた人数 (人)

学年	ハンカチを持ってきた	ティッシュペーパーを持ってきた	両方持ってこなかった	学年の人数
4年	40	47	2	52
5年	62	61	1	70
6年	52	57	1	60

学校で、4年生以上の学年について、ハンカチとティッシュペーパーを持っているかどうかについて調べました。ゆうじさんは、調べた結果を右のようにまとめました。



ゆうじさんが作った表には、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数が書いてありません。

さくらさんは、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた人数を求めるために、表をまとめ直すことにしました。右の表は、5年生の結果をまとめ直したものです。

5年生のハンカチ・ティッシュペーパー調べの結果 (人)

		ティッシュペーパー		合計
		持ってきた	持ってこなかった	
ハンカチ	持ってきた	ア	イ	62
	持ってこなかった	ウ	1	エ
合計		61	オ	70

さくらさんは、表をもとに右のような式をつくり、ハンカチとティッシュペーパーを両方持ってきた5年生の人数を54人と求めました。

【さくらさんの式】の中の「9」は、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数の合計を表しています。この「9」は表のオにあてはまります。

【さくらさんの式】

$$70 - 61 = 9$$

$$9 - 1 = \underline{8}$$

$$62 - 8 = 54$$

(1) 【さくらさんの式】の中の「8」はどのような人数を表していますか。言葉を使って書きましょう。また、この「8」は、表のどこにあてはまりますか。アからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましよう。

「8」が表す人数

(例) 8は、ハンカチを持ってきて、ティッシュペーパーを持ってこなかった人数です。

記号

イ

ハンカチとティッシュペーパーの両方について書きましよう。

ゆうじさんたちは、調べた結果をグラフに表して発表しようと考えています。

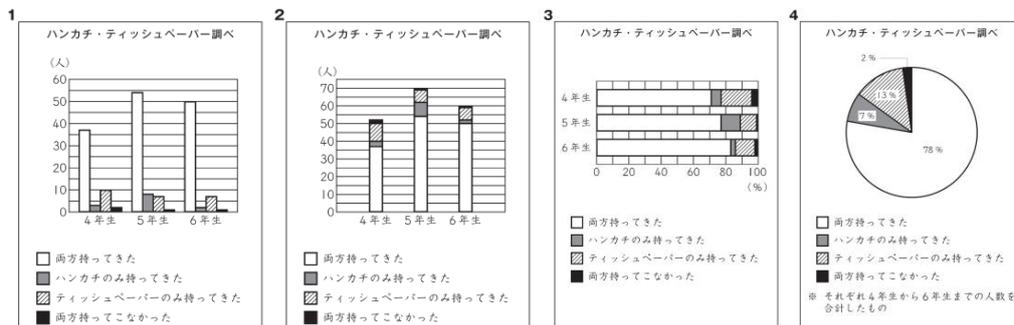


ハンカチとティッシュペーパーの両方を、いちばんよく持ってきている学年がわかるようなグラフを作りたいです。



学年の人数が違うので、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合がわかりやすいグラフをつくれればよいと思います。

(2) それぞれの学年の、「学年の人数」をもとにしたときの「ハンカチとティッシュペーパーの両方を持ってきた人数」の割合を表すのに、最も適したグラフは、下の1から4までの中のどれですか。1つ選んで、その番号を書きましよう。



3

1辺が7 cmの正方形について次のように話をしています。



正方形のたての長さを1 cm短くし、横の長さを1 cm長くすると、面積はどうなりますか。

先生

よし子さんは、下のように計算しました。

正方形

→

できた長方形

たての長さ	横の長さ		
7	× 7	= 49	正方形の面積 49 cm <sup>2</sup>
1 cm 短く ↓		↓ 1 cm 長く	
6	× 8	= 48	できた長方形の面積 48 cm <sup>2</sup>



よし子

面積は、もとの正方形より1 cm<sup>2</sup>小さくなりました。

(1) よし子さんは、1辺が8 cmや9 cmの正方形の場合でも、たての長さを1 cm短くし、横の長さを1 cm長くすると、面積が1 cm<sup>2</sup>小さくなるかどうかを、下のように調べました。

下の㉞、㉟、㊱に入れる数を書きましょう。

1辺が8 cmのとき

8 × 8 = 64	正方形の面積 64 cm <sup>2</sup>
↓ ↓	
7 × 9 = 63	できた長方形の面積 63 cm <sup>2</sup>

1辺が9 cmのとき

9 × 9 = 81	正方形の面積 81 cm <sup>2</sup>
↓ ↓	
㉞ × ㉟ = ㊱	できた長方形の面積 ㊱ cm <sup>2</sup>

㉞、㉟が逆になっていても正答です。

㉞	8	㉟	10	㊱	80
---	---	---	----	---	----

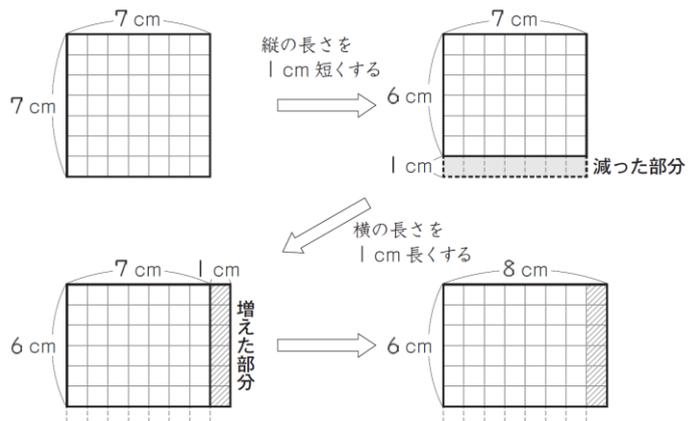


よし子

1辺が8 cmや9 cmの正方形の場合でも、7 cmのときと同じように、面積は1 cm<sup>2</sup>小さくなりました。

よし子さんは、正方形のたての長さを1 cm短くし、横の長さを1 cm長くすると、面積が1 cm<sup>2</sup>小さくなることを、1辺が7 cmの正方形を使って、右の図のように考えました。

そして、その考えを次のページのように説明しました。



**【よしさんの説明】**

正方形のたての長さを1 cm短くすると、減った部分の面積は  $1 \times 7$  で、 $7 \text{ cm}^2$ です。

続けて、横の長さを1 cm長くすると、増えた部分の面積は  $1 \times 6$  で、 $6 \text{ cm}^2$ です。

減った部分と増えた部分を比べると、 $7 - 6 = 1$  で、増えた部分の面積のほうが  $1 \text{ cm}^2$ 小さいです。

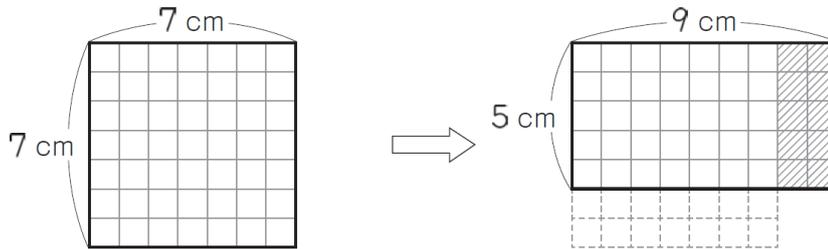
だから、面積は、もとの正方形の面積より  $1 \text{ cm}^2$ 小さくなります。

(2) 次に、正方形のたての長さを2 cm短くし、横の長さを2 cm長くすると、面積はどうなるかを、1 辺が7 cmの正方形を使って考えます。



たかし

よしさんと同じ考え方を使えば、面積が  $4 \text{ cm}^2$ 小さくなることがわかります。



**【よしさんの説明】**をもとに、面積が  $4 \text{ cm}^2$ 小さくなることを説明すると、どのようになりますか。下の㊸、㊹、㊺に入る説明を、言葉と式を使って書きましょう。

**【説明】**

正方形のたての長さを2 cm短くすると、

続けて、横の長さを2 cm長くすると、

減った部分と増えた部分を比べると、

だから、面積は、もとの正方形の面積より  $4 \text{ cm}^2$ 小さくなります。

㊸	例) 減った部分の面積は $2 \times 7 = 14$ で、 $14 \text{ cm}^2$ です。
㊹	例) 増えた部分の面積は $5 \times 2 = 10$ で、 $10 \text{ cm}^2$ です。
㊺	例) $14 - 10 = 4$ で、増えた部分の面積のほうが $4 \text{ cm}^2$ 小さいです。

- ㊸に下の①を書き、㊹に下の②を書き、㊺に下の③と④を書くようにしましょう。
- ① 減った部分の面積が  $14 \text{ cm}^2$ であることを表している言葉と式
  - ② 増えた部分の面積が  $10 \text{ cm}^2$ であることを表している言葉と式
  - ③ 増えた部分と減った部分の面積の差を求める式と答え
  - ④ 増えた部分の面積の方が減った部分の面積より小さいことを表す言葉

かける数

はるなさんたちは、学習した九九の表についてふり返りました。

まず、九九の表の、2の段と3の段に着目し、たてに並んでいる2つの数について話し合いました。

かけられる数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

← 2の段  
← 3の段



はるな

2の段の「4」と3の段の「6」、この2つの数「4、6」の和は10です。「6、9」の和は15です。「8、12」の和は20です。どの和も5の段の数です。



ゆうか

「2、3」の和は5です。「18、27」の和は45です。やはり、5の段の数ですね。



ひろと

「8、12」の和と、「18、27」の和が、5の段になるわけを考えて式に表しました。

【ひろとさんの考え】

「8、12」のとき

$$\begin{aligned} 8 + 12 &= 2 \times 4 + 3 \times 4 \\ &= (2 + 3) \times 4 \\ &= 5 \times 4 \\ &= 20 \end{aligned}$$

「18、27」のとき

$$\begin{aligned} 18 \times 27 &= 2 \times 9 + 3 \times 9 \\ &= (2 + 3) \times 9 \\ &= 5 \times 9 \\ &= 45 \end{aligned}$$



はるな

【ひろとさんの考え】のように、(2+3)でまとめることで、かけられる数が5になります。だから、5の段の数ですね。



ゆうか

2の段と3の段のたてに並んでいるほかの2つの数のときも、(2+3)とまとめることで、かけられる数が5になります。だから、2の段と3の段のたてに並んでいる2つの数の和は、5の段ですね。



ひろと

それでは、4の段と5の段のたてに並んでいる2つの数の和は、9の段の数なのかな。

4の段と5の段のたてに並んでいる2つの数の和は、9の段の数になります。9の段の数になるわけを考えて式に表します。

- (1) 4の段と5の段のたてに並んでいる2つの数「32、40」の和が、9の段の数になるわけを、【ひろとさんの考え】と同じように考えて式に表します。下の㉞、㉟にあてはまる式を書きましょう。

㉞	$\begin{aligned} &8 \times 4 + 8 \times 5 \\ &4 \times 8 + 8 \times 5 \\ &8 \times 4 + 5 \times 8 \\ &5 \times 8 + 4 \times 8 \\ &8 \times 5 + 8 \times 4 \\ &5 \times 8 + 8 \times 4 \\ &8 \times 5 + 4 \times 8 \end{aligned}$	本当は $4 \times 8 + 5 \times 8$ がいいけど、これでもいちおう〇にしておきましょう。
---	--	---

㉞	$4 \times 8 + 5 \times 8$
㉟	$(4 + 5) \times 8$

次に、九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

かける数



はるな

横に並んでいる3つの数「4、5、6」の和を求めると、 $4 + 5 + 6 = 15$ です。15は、「4、5、6」の真ん中の数5の3倍になっています。

かけられる数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81



ひろと

横に並んでいる3つの数「18、21、24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。



はるな

それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようになるのかな。

ゆうかさんたちは、横に並んでいる5つの数「6、12、18、24、30」について調べました。



ゆうか

横に並んでいる5つの数「6、12、18、24、30」の和を求めると90です。90は18の5倍です。

ゆうかさんの話をきいてはるなさんは、次のように説明し直しました。

**【はるなさんの説明】**

横に並んでいる5つの数「6、12、18、24、30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が7つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

(2) 2の段の、横に並んでいる7つの数「4、6、8、10、12、14、16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と式を使って書きましょう。

(正答例) 横に並んでいる7つの数「4、6、8、10、12、14、16」の和70は、真ん中の数10の7倍になっています。

- 【はるなさんの説明】をまねして書いてみましょう。次の①②③について書いてあるかどうか確認してみてください。
- ① 「横に並んでいる7つの数4、6、8、10、12、14、16の和」を表していることがわかる言葉と、和の数の「70」が書かれていますか。
  - ② 「真ん中の数」を表していることがわかる言葉と、真ん中の数「10」が書かれていますか。
  - ③ 7倍であることを表している言葉や数が書かれていますか。

1通送るのにかかる料金

封筒の大きさ	封筒の重さ	料金
小さい封筒	25g以内	82円
	50g以内	92円
大きい封筒	50g以内	120円
	100g以内	140円
	150g以内	205円

ゆりえさんたちは、交流会に来てくれた地域の方20人に、お礼の手紙と記念品をいっしょに封筒に入れて送ろうとしています。1通送るのにかかる料金は、封筒の大きさと重さによって、右のように決まっています。

手紙と記念品を小さい封筒に入れると、1通の重さは27gになりました。また、大きい封筒に入れると、1通の重さは36gになりました。ゆりえさんたちは、料金をできるだけ安くするために、小さい封筒に入れて送ることにしました。

(1) 手紙と記念品を封筒に入れて、20通送るときの料金について考えます。小さい封筒に入れて送る場合は、大きい封筒に入れて送る場合と比べて、何円安くなりますか。求め方を言葉や式を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

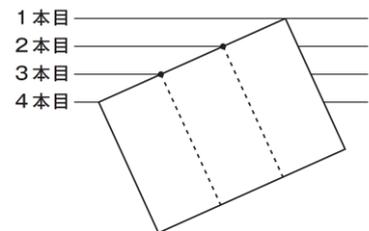
求め方 (正答例)	答え
小さいふうとうに入れると27gだから、1通送るのに92円かかります。20通送るから、 $92 \times 20 = 1840$ で、1840円かかります。 大きいふうとうに入れると36gだから、1通送るのに120円かかります。20通送るから、 $120 \times 20 = 2400$ で、2400円かかります。 その差は、 $2400 - 1840 = 560$ なので、560円安くなります。	560円

(別解) (正答例)

小さいふうとうに入れると27gだから、1通送るのに92円かかり、大きいふうとうに入れると36gだから、1通送るのに120円かかります。1通送るのにかかる料金の差は、 $120 - 92 = 28$ で、28円です。20通送るから、 $28 \times 20 = 560$ で、560円安くなります。

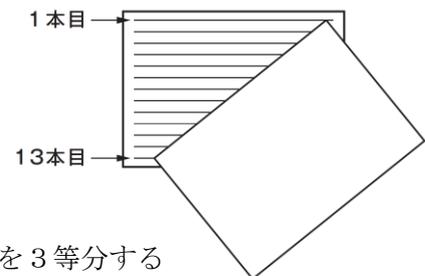
3等分する点を見つける方法

- ① 同じはばに並んだ4本の平行な直線の、1本目の直線と4本目の直線に手紙の長い辺の両はしをあわせる。
- ② 2本目、3本目の直線と手紙の長い辺が交わった点が、手紙の長い辺を3等分する点になる。



同じはばに並んだ直線を4本使うと、直線と直線の間が3つになるので、3等分する点を見つけることができるのですね。

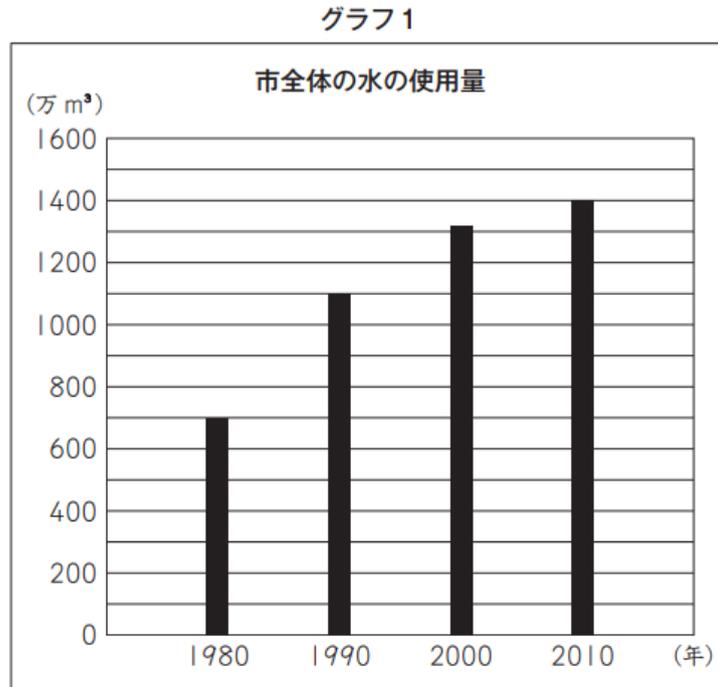
手紙の用紙には、同じはばに並んだ13本の平行な直線がひかれています。ゆりえさんは、手紙を3つに折るために、もう1枚の手紙の用紙を使おうと考えました。そして、右図のように、1本目と13本目の直線に手紙の両はしをあわせて、3等分する点を見つけました。



(2) 13本の直線のうち、手紙の長い辺と交わった点が、その辺を3等分する点になるのは、上から何本目と何本目の直線ですか。答えを書きましょう。

上から	5	本目と	9	本目
-----	---	-----	---	----

かいとさんたちは、水を大切に使用しているのかどうかを知りたいと思い、まず、自分たちの住んでいる市では、水をどのくらい使っているのかを調べています。かいとさんは、右の**グラフ1**を見つめました。



(1) 1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、**グラフ1**からどのようなことがわかりますか。下の **1** から **4** までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 市全体の水の使用量は、減っている。
- 2 市全体の水の使用量は、変わらない。
- 3 市全体の水の使用量は、増えている。
- 4 市全体の水の使用量は、増えたり減ったりしている。

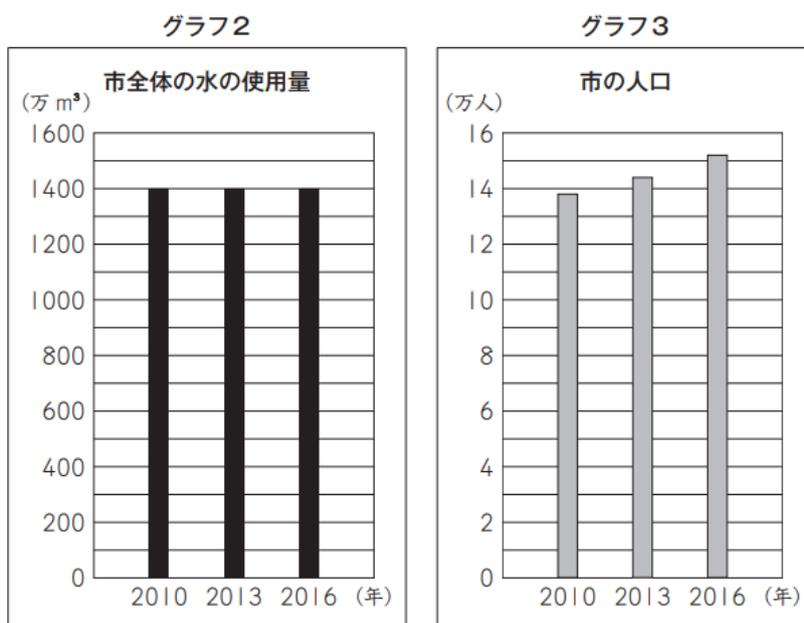
(1)	<b>3</b>
-----	----------

(2) **グラフ1**の、**2010年**の市全体の水の使用量は、**1980年**の市全体の水の使用量の約何倍ですか。答えを書きましょう。

2010年の市全体の水の使用量は、1400万 $m^3$ 、  
 1980年の市全体の水の使用量は、700万 $m^3$ 、  
 なので、 $1400万 \div 700万 = 2$  と求められるね。

(2)	約 <b>2</b> 倍
-----	--------------

(3) 次に、かいとさんたちは、市全体の水の使用量には、人口が関係しているのではないかと思ひ、**グラフ2**と**グラフ3**を見つけ、2つのグラフをもとに考えています。



かいと

わたしたちは、水を大切に使っているといえるのでしょうか。



ゆうか

市全体の水の使用量はわかりますが、1人で水をどのくらい使っているのかはわかりません。



あやの

**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、1人あたりの水の使用量についてもわかります。

あやのさんが言うように、**グラフ2**と**グラフ3**を見ることで、2010年から2016年までの1人あたりの水の使用量についてわかることがあります。2010年から2016年までの、3年ごとの1人あたりの水の使用量について、どのようなことがわかりますか。

下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その番号を選んだわけを、**グラフ2**と**グラフ3**からわかることをもとに、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 1人あたりの水の使用量は、減っている。
- 2 1人あたりの水の使用量は、変わらない。
- 3 1人あたりの水の使用量は、増えている。
- 4 1人あたりの水の使用量は、増えたり減ったりしている。

	【番号】	【選んだわけ】
(3)	1	<p><b>(例)</b> 1人あたりの水の使用量は、<b>市全体の水の使用量÷市の人口</b>を求めることができます。市全体の水の使用量は変わっていませんが、市の人口は増えています。だから、1人あたりの水の使用量は、減っています。</p>